



お寺の報恩講が終わると、春が近づいて来  
ます。今日 ぶきのとうを3コ見つけました。日ざしは  
あたたかいし 大地もやわらかく感じます。いつ  
のまにか そこの梅の木に 花の白さが拡  
がってきています。

老ゆる梅 形く閑しめ 香こう吐けり

これは 信国先生の句です。「大無量壽經」に  
この間かんに、悪あく多おほくして 自然なることある...  
ことなし。勤苦して 求欲す。うたた相あひまい軟  
結たい（あひまきたす）して 心勞し 形閑くしくして  
苦を飲み 毒を食らう。

とあるのを ふまえて言えられたのでしよう。その  
ように この世間に生きることには 苦がついて  
まわります。「苦の娑婆しゃは（しゃは）」といひ「堪忍かんにん土」  
（堪忍かんにんはなくてほならない世界）といわれる通  
りです。年をとるにつけても、その苦勞がこの身に  
どんなしるしを刻むのか、「時は 此れ道理の自証  
なり」と言われいます。...折れ曲がり 空洞になっ  
た 古木にも、汚れを知らぬ愛らしい花が 次々  
と咲きつがけています。南無阿彌陀仏

ご遠慮 お待受け南法会 2月9日 午後1時半～  
第2回「清浄なるもの」村田和樹わじゅ先生  
輪島よりおいで下さいます。お待ちしい☺